

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」で述べられた ご意見・ご要望等とそれに対する市の回答の一部（要約）を紹介します。

Q 高齢者の肺炎予防対策について
肺炎球菌ワクチン接種に対する補助につ
いて、検討のうえ対処されたい。

A 肺炎は高齢者の死亡原因の第4位になっ
ているので、健康を維持し、活動的な高齢期を
過ごすためにも、肺炎予防は重要になる。下
野市でも平成23年度から、高齢者の肺炎球
菌ワクチン予防接種の助成について検討してい
く方向で考えている。

Q 学級クラスの人数の体制について、将来
的な考え方は？

A 国の法制度では、1クラス40名までとなっ
ている。下野市の平均は、小学校は27~28名。
中学校は、県の措置で35名学級となっている。
文部科学省の方向性として、35名（小学校
1・2年は30名）体制を、8年計画で進めてい
るので、今後の国・国会の方向性を受け止め
て、適正規模の学級編成を検討する。

Q 石橋地区のごみの収集が今現在は、宇都
宮市で期限を決められた形で認可されてい
るが、この件に関する予算はどうなっている
のか。もっと市民には（特に石橋地区）、情
報を流してほしい。今後はどうなるのか、現
在の進捗状況について聞きたい。

A 石橋地区のごみについては、宇都宮市との話
し合いで、まだ3年間の猶予があり、平成24
年度まではビニールとプラスチックを一般ごみと
一緒に出して焼却処分することとなっている。

平成25年度以降、4月からビニールとプラス
チックの分別がなされるので、石橋地区のビ
ニールとプラスチックのごみは、小山広域の新
しい施設で処理される予定。一般ごみは今ま
でどおりに出せる。3年後から変わる石橋地区
のごみ分別について、今後、説明会を開く方
向で担当者が動いている。近いうちに実施予
定である。

Q 下野市で24時間みてくれる緊急指定病
院をつくってほしい。

A 緊急医療に関しては、自治医大を含め相談
しながら医療機関が連携をとれるように調整さ
せていただき、地元で安心してもらえるような
体制をできるだけつくっていききたい。

Q 防犯灯の設置はいつ頃か？

A 防犯灯は、各自治会からの要望をいただき、
工事の発注の作業中。工事業者の入札が決ま
り次第、冬の暗くなる前に工事に入りたい。

Q 新庁舎建設の構想について

A 新庁舎は、現状、基本計画策定に入ってい
る。今後、細部の検討に入る。そして、約
2,000人のアンケート調査を行う。
また、来庁者の方より意見を聞き、まとま
った時点で、最終的には、パブリックコメントと
して、市民のご意見を伺うようにする。

Q 昨年の末に、下野市の道路整備要望書の
決定通知が来たが、回答は淡泊な内容で、
自分が要望したことは見送られてしまった。
決定する前には、どのような調査をしてど
のような形で決定したのか説明してほしい。

また、見送られた自分の要望書はもう効
力はないのか。それとも、今後の推進計画に、
また生かしてもらえるのか。

A 要望が出た場所は、経済建設部内5人で現
地を調査している。その道路の利用状況をみ
て、ランクづけをしている。Aランクがついた
ものから早急に対応に当たっているのが現状。
限られた予算を有効に使うようにしている。

出された要望書はそのまま残り、再度ラン
ク付けをし順次検討をして着手していく。常に
優先度をよく見極めてから工事に着手している。